

# 九州厚生局における各種取組み

九州厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 「九州厚生局地域共生社会推進会議」の設置

## ○ 目的

管内における地域共生社会の実現に向けた市町村等の取組の更なる推進を図ること

## ○ 検討事項

地域共生社会の実現に向けた市町村等の取組への具体的な支援策の検討

※ 優良事例の表彰、アドバイザーの登録・派遣、セミナーの開催、取組事例サイトの運営 等

## ○ 開催実績

第1回 令和元年5月開催、第2回 令和2年1月開催、第3回 令和3年12月開催、  
第4回 令和4年12月開催、第5回 令和5年12月開催、第6回 令和6年11月開催

### <構成員>

#### 自治体

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、佐賀県多久市

#### 医療・介護・福祉関係団体

福岡県医師会、宮崎県歯科医師会、熊本県薬剤師会、長崎県看護協会、  
大分県手をつなぐ育成会、福岡県社会福祉協議会、九州障害者支援施設協議会

#### 有識者（敬称略）

NPO法人抱樸理事長 奥田 知志  
佐賀県後期高齢者医療広域連合事務局長 馬場 文則  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療学 教授 永田 康浩  
特別養護老人ホーム白寿園施設長 鴻江 圭子



会議の様子

# 「第6回 九州厚生局地域共生社会推進会議」の開催

九州・沖縄管内における地域共生社会の実現に向けた市町村等の取組の支援を進めることを目的として、令和6年11月25日に第6回九州厚生局地域共生社会推進会議を開催。

## ＜第6回 九州厚生局地域共生社会推進会議＞

- ◆ 日 時 令和6年11月25日（月） 13：00～15：00 オンライン開催（Zoom）
- ◆ プログラム 資料：[https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/kyosei\\_kaigi6.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/kyosei_kaigi6.html)
  1. 九州厚生局長挨拶
  2. 地域共生社会の実現に向けた施策の動向と都道府県への期待  
（厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生社会推進室）
  3. 意見交換等（その1）
  4. 地域共生社会の実現に向けた取組事例等の紹介（各構成員）
  5. 九州厚生局における主な取組について
  6. 意見交換等（その2）

- 地域包括ケアシステム、生活困窮者支援、障害者の地域生活支援、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施などの事業について、各県等と連携しつつ、①表彰の実施、②アドバイザーの登録・派遣、③セミナー等の開催、④取組事例サイトの運営により、優良事例・ノウハウの横展開を推進し、市町村等の取組を支援。

## （１）表彰の実施

地域の実情に応じた優れた取組を行っている自治体・事業者の公募を行い、九州厚生局長表彰を実施し、その取組を幅広く紹介することによる横展開を推進。

## （２）アドバイザーの登録・派遣

地域の実情に応じた優れた取組を行っている市町村・事業者の職員や有識者をアドバイザーとして登録し、九州・沖縄管内の支援を希望する市町村等に対して、それぞれの課題に即したアドバイザーを派遣することによる支援を実施。

## （３）セミナー等の開催

各事業の自治体関係者、医療・介護・福祉等事業者等が参加するセミナー・フォーラム・研修会を開催し、それぞれが抱える課題解決に向けた意見交換やノウハウなどの情報共有の場として提供。

## （４）取組事例サイトの運営

地域の実情に応じた優れた取組を行っている市町村・事業者の事例収集を行い、九州厚生局ホームページの取組事例サイトに、各事例を掲載することによる横展開を推進。

# (1) 地域共生社会推進賞

地域共生社会の実現に向けた取組が先駆的又は他の模範となるものであり、今後も継続して努力していくものと認められる管内の市町村や団体について、その取組を広く紹介し、その横展開を推進するため、2年に1度、「地域共生社会推進賞」として九州厚生局長表彰を実施しております。

令和7年度は九州厚生局長表彰の実施年度です。ぜひ応募してみませんか。

※九州厚生局のホームページ及び九州各県において募集案内を行っております。詳しくは下の「お知らせ」をご覧ください。

〇〇の取り組みは大変すばらしいのでもっと他の地域にも知ってほしい！などありましたら、ぜひ応募の後押しをお願いします！

## (参考) <令和5年度 九州厚生局長表彰選考結果> 【市町村部門】 (表彰数: 3)

大 賞 … 熊本県御船町 (地域づくり型の介護予防活動と健康格差対策の推進)

優秀賞 … 福岡県中間市 (認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト)

部門賞 … 佐賀県武雄市地域包括支援センター (地域包括ケアシステム拠点整備事業  
及び地域包括ケアシステム拠点運営継続支援事業)

## 【団体部門】 (表彰数: 3)

大 賞 … 小国町社会福祉協議会 (誰もが暮らしやすい街をつくりたい～サポートセンター悠愛の地域課題への取組～)

優秀賞 … 西原町社会福祉協議会 (コミュニティソーシャルワーク事業)

部門賞 … 出水市大川内地区コミュニティ協議会 (あの手この手で住み続ける地域住民を応援する取組)

各受賞者の発表資料はこちら ▷ 【九州厚生局HP】 URL: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00259.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00259.html)



受賞者等による集合写真

【QRコード】



## お知らせ

現在、第3回「地域共生社会推進賞」の募集を行っております！

(応募は令和7年7月11日(金)まで)

表彰を受けることにより、取組の認知度の拡大やモチベーションのアップにより、今後の取組に更なる広がりが出てくるのではないかと考えております。皆様の地域の取組についてぜひ応募してみませんか。また、他の地域の取組についても、応募の後押しをいただけますと幸いです。詳しくは▼

[https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00761.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00761.html)

【QRコード】



## 【問い合わせ先】

九州厚生局健康福祉部

地域包括ケア推進課

電話: 092-432-6784

Mail: [kskousei169@mhlw.go.jp](mailto:kskousei169@mhlw.go.jp)

## (2) 九州厚生局地域包括ケアシステム等アドバイザー派遣事業

令和元年度より、九州・沖縄管内の地域包括ケアシステムの深化推進及び地域共生社会の実現に向けた支援を希望する市町村・県・社会福祉協議会等（以下「市町村等」という。）に対して、課題に即したアドバイザーの派遣を実施。

### ○アドバイス項目

- (1) サービス・活動事業
- (2) 一般介護予防事業
- (3) 地域ケア会議
- (4) 在宅医療・介護連携推進事業
- (5) 認知症総合支援事業
- (6) 権利擁護（成年後見・介護相談員等）
- (7) 生活支援体制整備事業
- (8) 地域共生社会関係
- (9) その他

### ○アドバイザー登録者数

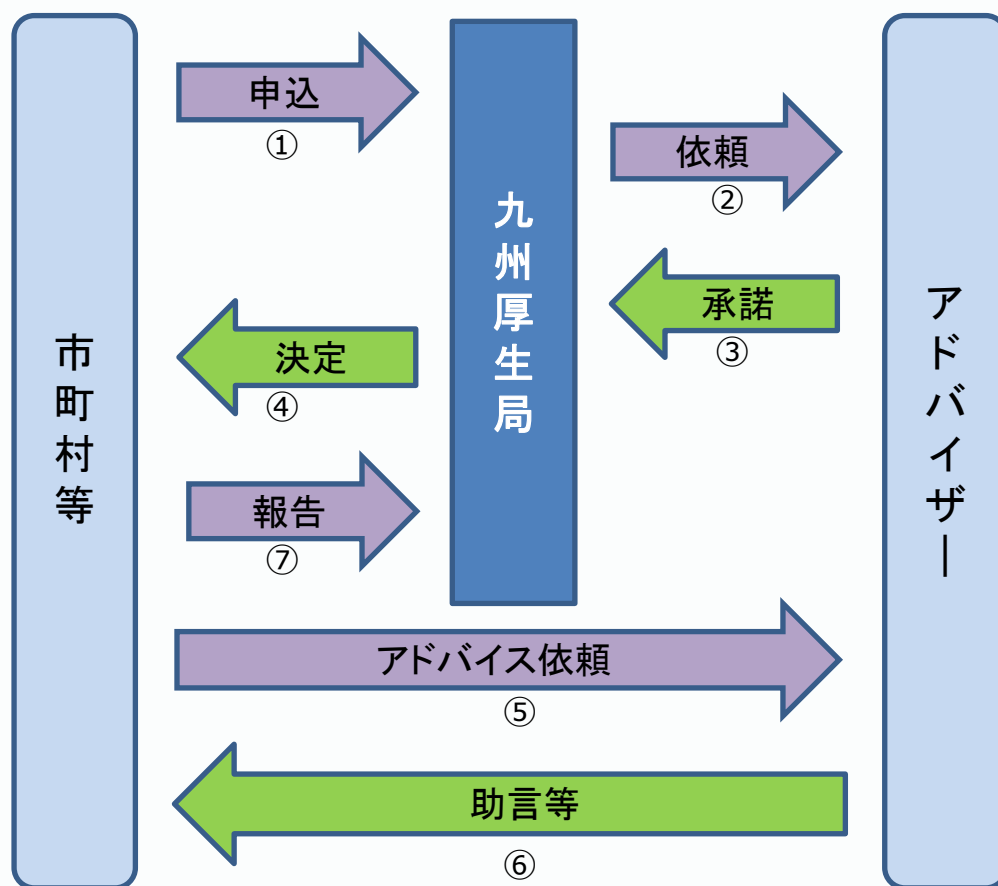
15人（令和7年4月現在）

### ○申請方法等

九州厚生局ホームページでご確認ください。

[https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/caresystem/adv/iser\\_00001.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/caresystem/adv/iser_00001.html)

### ○アドバイザー派遣概要（流れ）



## (2) 令和6年度 九州厚生局地域包括ケアシステム等アドバイザー 派遣実績一覧

| 派遣月             | 派遣先                                | イベント名                                                  | 派遣アドバイザー                                                                 |
|-----------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| R6年6月           | 福岡県宗像市                             | 第1回相談支援機関相談員会議                                         | 「重層的支援体制整備事業」アドバイザー<br>梅本政隆氏（株式会社地域創生Coデザイン研究所ポリフォニックパートナー）              |
| R6年7月           | 熊本県菊池市                             | 令和6年度第1回菊池市高齢者地域見守りネットワーク連絡会                           | 「地域包括ケア全般」アドバイザー<br>山内強氏（元九州厚生局地域包括ケア推進課課長）                              |
| R6年8月           | (株)ラボラトリオ（福岡市オレンジパートナーズ運営支援業務）     | 令和6年度 第2回NEXTミーティング（認知症に関する勉強会）                        | 「認知症総合支援事業」アドバイザー<br>猿渡進平氏（医療法人静光園白川病院地域医療連携室長）                          |
| R6年9月           | 大分県                                | 令和6年度在宅医療・介護連携コーディネーター養成研修                             | 「在宅医療・介護連携推進事業」アドバイザー<br>坂上陽一氏（公益社団法人肝属郡医師会肝属郡医師会立病院地域医療室長）              |
| R6年10月          | 鹿児島県鹿屋市                            | 鹿屋市福祉まつり                                               | 「地域包括ケア全般・地域共生社会」アドバイザー<br>山内強氏（元九州厚生局地域包括ケア推進課課長）                       |
| R6年10月          | 福岡県宗像市                             | 第2回相談支援機関相談員会議                                         | 「重層的支援体制整備事業」アドバイザー<br>梅本政隆氏（株式会社地域創生Coデザイン研究所ポリフォニックパートナー）              |
| R6年9月～<br>R7年2月 | 鹿児島県徳之島町                           | 【保険者機能強化支援事業】伴走型支援（徳之島町）                               | 「生活支援体制整備事業」アドバイザー<br>宮田太一郎氏（社会医療法人関東会法人本部地域福祉推進室地域福祉推進室長(元大分県国東市第1層SC)) |
| R7年2月           | 鹿児島県                               | 令和6年度鹿児島県在宅医療・介護連携推進事業研修会                              | 「在宅医療・介護連携推進事業」アドバイザー<br>坂上陽一氏（公益社団法人肝属郡医師会肝属郡医師会立病院地域医療室長）              |
| R7年3月           | 医療法人社団 豊永会<br>飯塚記念病院（福岡県認知症医療センター） | 令和6年度 福岡県認知症医療センター認知症啓発研修会<br>第4回一般市民＆専門職向け研修会（一般市民向け） | 「認知症総合支援事業」アドバイザー<br>猿渡進平氏(医療法人静光園白川病院地域医療連携室地域医療連携室長)                   |



### (3) 九州厚生局地域共生セミナーについて

九州厚生局では、これまで、他省庁（国土交通省、農林水産省）の地方支分部局と連携し、自治体や福祉関係事業者等に対して、好取組事例の紹介や厚生労働省及び他省庁の関連施策等に関する情報提供などを通じて、自治体等への支援を目的としてセミナーを開催しており、令和6年度においても以下のとおり開催した。

## 農福連携

**（農林水産省九州農政局との連携）**

**（開催日）** 令和6年7月23日（火） 13：00～16：30 オンライン（Zoom）

**(目 的)** 障害者の自立した生活の支援や高齢者の健康・生きがいづくりには、多様な就労の場等を確保する必要があります。そのため、農福連携の意義・現状等や厚生労働省及び農林水産省の支援策等を知っていただくとともに、障害者等について、先進的に取り組んでいる農福連携の事例を紹介することにより、農業分野における障害者等の就労の場等を創出することを目的に開催

**(対象者)** 県職員、市町村職員、社協職員、福祉関係事業者及びその他関係事業者 等

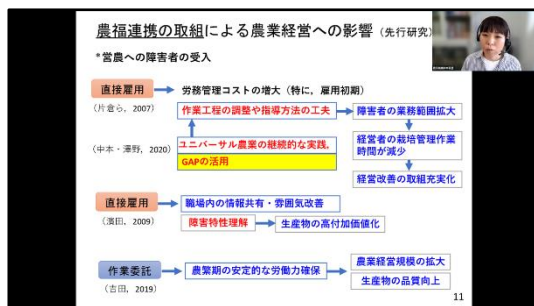
(プログラム) 行政説明（九州厚生局 地域包括ケア推進課、農林水産省 九州農政局 都市農村交流課）、基調講演（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（通称：農研機構）西日本農業研究センター 研究員 中本 英里 氏）、事例報告（一般社団法人THECHALLENGED（福岡県久留米市）、社会福祉法人出島福祉村（長崎県長崎市））、グループワーク

(参加者数) 50名 (継続数)

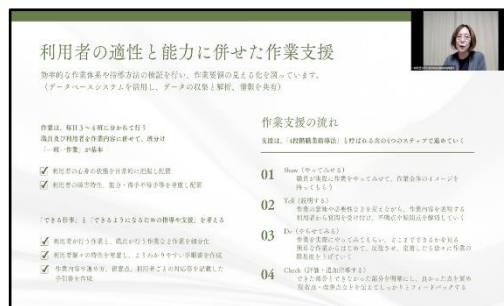
## ＜セミナーの様子＞

資料 : [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00283.html#r6](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00283.html#r6) noufuku

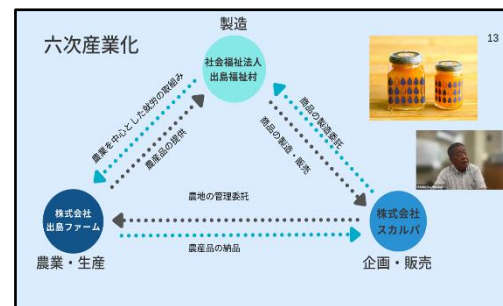
フォトレポート : [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r60723\\_00001.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r60723_00001.html)



## 基調講演者による講演



事例報告者による講演①



事例報告者による講演②

【農福連携】農業と福祉が連携し、障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに障害者等の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。厚生労働省は農林水産省と連携してこの取組みを推進しています。



# (3) 九州厚生局地域共生セミナーについて

## 居住支援

## (国土交通省九州地方整備局との連携)

(開催日) 令和6年9月19日(木) 13:00~16:30 オンライン(Zoom)

(目的) 地域共生社会の実現に向け、居住支援に係る体制構築は重要な課題として位置づけられます。そのため、当セミナーにおいて、国の施策等や、既に各地で居住支援に取り組んでいる団体の取組事例を紹介することにより、高齢者や低所得者、障害者などの住宅確保要配慮者に対する居住支援を推進することを目的として開催

(対象者) 県職員、市町村職員、社協職員、福祉関係事業者、不動産関係事業者、その他関係事業者 等

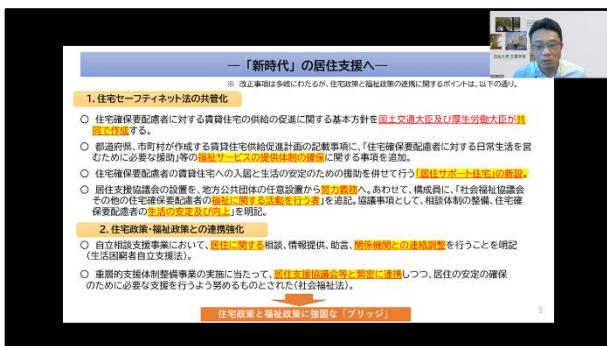
(プログラム) 行政説明(厚生労働省社会・援護局、国土交通省九州地方整備局建政部)、基調講演(日本大学文理学部社会福祉学科教授 白川泰之氏)、事例報告(久留米市居住支援協議会、久留米市居住支援協議会)、グループワーク

(参加者数) 126名(接続数)

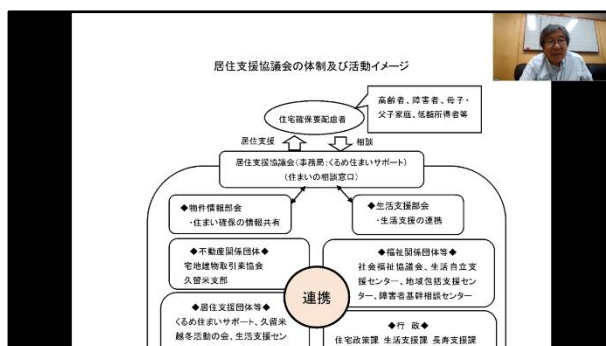
## <セミナーの様子>

資料: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00283.html#r6\\_kyoju](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00283.html#r6_kyoju)

フォトレポート: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r60919\\_00001.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r60919_00001.html)



基調講演者による講演



事例報告者による講演①



事例報告者による講演②

「居住支援」とは？ 法令上、または何らかの公式に定義されていないが、私見としては…

- ①入居前、入居後、死後といった支援対象者が置かれた時間軸を支援者が共有し、
- ②アセスメントを深めながらそれぞれの段階において賃貸人、支援対象者が必要とする支援を関係機関・団体等が連携しながら実践することにより、
- ③住宅の供給又は喪失の予防と安定的でつながりのある地域生活との一体的実現を図るものである。

(出典) 令和6年度第2回九州厚生局地域共生セミナー基調講演資料

# (3) 九州厚生局地域共生セミナーについて

## 移動支援

## (国土交通省九州運輸局との連携)

(開催日) 令和7年2月28日(金) 13:00~16:30 オンライン(Zoom)

(目的) 高齢化が進展している中、買い物や通院等への移動手段の確保がますます重要な課題となっています。また、移動手段の確保は、高齢者の社会参加の機会の確保にも繋がることから、介護予防の観点からも重要な課題と言えます。そのため、当セミナーにおいて、国の施策の紹介や、基調講演、さらには既に各地で移動支援に取り組んでいる団体の取組事例を紹介することにより、多様な主体が参画する、支え合いによる移動支援を推進することを目的として開催

(対象者) 県職員、市町村職員、社協職員、移動支援に関心がある団体関係者、その他関係者 等

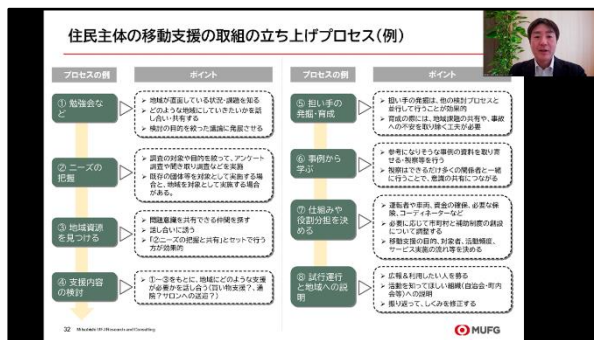
(プログラム) 行政説明(九州厚生局 地域包括ケア推進課、国土交通省 九州運輸局 交通政策部 交通企画課)、基調講演(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社 社会政策部 部長・主任研究員 鈴木 俊之 氏)、事例報告(佐世保市社会福祉協議会、国東市社会福祉協議会)、グループワーク

(参加者数) 181名(接続数)

## <セミナーの様子>

資料: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00283.html#r6\\_idou](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00283.html#r6_idou)

フォトレポート: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r70228\\_00001.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r70228_00001.html)



基調講演者による講演



事例報告者による講演①

国東市住民主体の移動支援

市内8校区(全10校区)で実施中

メニューと内容

- ①道徳運送法における「住民主体の移動支援」位置づけの理解「移動支援協議会の開催」  
・「許可」、「登録」、「許可・登録不要の互助活動」3種類における位置づけ理解。  
・「行政-社協-地域」が一体となった共通理解の必要性。
- ②地域における仕組みづくり支援「活動者の負担軽減」  
・「送迎支援、実務支援要項整備」  
・利用者保険、活動者保険、活動自動車専用保険加入支援、レンタカー購入支援。  
・活動者登録簿、利用者・利用家族同意書整備、緊急対応、事故対応等もルール化を図る。
- ③利用者・活動者「相互の安心・安全」のための「安全運転者講習会」の開催(毎年1回)  
・国東自動車学校(市営)にて、座学と送迎サポート実践を学ぶ場。(地域主催)  
・参加の声掛けにより、新たな活動者の担い手確保にも繋がっている。

①～③に關しての「相談機関」として「NPO法人全国移動サービスネットワーク」様の存在の大きさ! 22

事例報告者による講演②

# (3) 九州・沖縄地域共生社会推進フォーラムの開催

令和7年1月10日に、九州・沖縄地域の市町村における地域共生社会の実現に向けた取組を加速させることを目的に、九州・沖縄管内の県職員・市町村職員・社協職員等を対象とした「九州・沖縄地域共生社会推進フォーラム」を開催。

## <九州・沖縄地域共生社会推進フォーラム>

- ◆ 日 時 令和7年1月10日(金) 13:30～16:30 オンライン開催 (Zoom)
- ◆ 対象者 九州厚生局管内の県職員・市町村職員・社会福祉協議会職員等
- ◆ テーマ 認知症の本人とともに、暮らしやすい地域をつくろう ～共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行を受けて～
- ◆ プログラム 資料: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00523.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00523.html)  
フォトレポート: [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r70110\\_00001.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/photo/r70110_00001.html)

### 1. 九州厚生局長挨拶

### 2. 行政説明 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

認知症総合戦略企画官 遠坂佳将 氏

### 3. 基調講演 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 堀田聡子 氏

### 4. シンポジウム

- ①取組紹介 鹿児島県錦江町地域包括支援センター 本村貴浩 氏、医療法人静光園白川病院 猿渡進平 氏、特別養護老人ホーム 白寿園 鴻江圭子 氏、全国認知症本人大使「希望大使」・大分県認知症希望大使 戸上守 氏

#### ②意見交換及び討論

ファシリテーター: (基調講演者) 堀田聡子 氏

シンポジスト: (取組紹介者) 本村貴浩 氏、猿渡進平 氏、鴻江圭子 氏、戸上守 氏  
(行政説明者) 遠坂佳将 氏



意見交換及び討論の様子

(参考) 参加者数: 124名 (接続数)

## (4) 市町村等視察

- 地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現に寄与する、九州厚生局管内の優良な取組事例の横展開を図るため、自治体等に積極的に視察を行っています。

### 【令和6年度視察先】

| 視察先                           | 取り組み内容                                              |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------|
| ①宮崎県都城市（デイサービス遊癒）             | イオン内で展開されるデイサービスと買い物支援の効果的な取組                       |
| ②熊本県高森町                       | 要介護認定率の減少につなげる通いの場等を活性化させる取組                        |
| ③福岡県福岡市<br>（福岡市認知症フレンドリーセンター） | 認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指して                |
| ④宮崎県三股町                       | 【一般介護予防事業】ポピュレーションアプローチを体現した、みまたフィットネス教室「ぴしゃトレ」について |



地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現に寄与する優れた取組を行っている市町村・事業者等の事例について、その取組を広く紹介するため、九州厚生局ホームページに取組事例サイトを運営【取組事例サイト】 ([https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/caresystem/caresystem\\_kyosei\\_torikumi.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/caresystem/caresystem_kyosei_torikumi.html))

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

- ## 2 地域共生社会に関する取組事例

【宮崎県】

- 宮崎県都城市 デイサービス遊療

デイサービス遊療の取組について（視察）

### 取材及び買い物支援の様子

## その他参考情報

ひと、暮らし、みらいのために



## ○老人保健健康増進等事業

高齢者の介護、介護予防、生活支援、老人保健及び健康増進等に関わる先駆的、試行的な事業に対して補助を行い、老人保健福祉サービスの一層の充実や介護保険制度の基盤の安定化に資することを目的とする補助金事業です。

令和6年度は、九州厚生局管内において以下の2件の事業が実施されました。

- ・事業実施事業者名：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
- ・事業名：地域包括支援センターにおけるICTの導入促進のあり方に関する調査研究
- ・事業概要：ICT 導入の効果検証、センター職員への効果的な情報提供の在り方の検討、ICT 導入における課題と対応策の整理 等
- ・事業実施事業者名：一般社団法人人とまちづくり研究所
- ・事業名：認知症施策推進のための広域的支援に関する調査研究事業
- ・事業概要：九州厚生局管内各県の認知症施策の概要や市町村支援等について調査したうえで、賛同が得られた県において市町村の伴走型支援を含むモデル事業等を行い、それらの経過及び成果をもとに、市町村支援の考え方、伴走型支援の担い手となるアドバイザーの役割、支援のプロセス、手法等を整理する 等

上記2事業に係る実績報告書につきましては▼のリンク先からご覧ください。

【九州厚生局HP】 [https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage\\_00770.html](https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/newpage_00770.html)

## ○九州厚生局公式X（旧Twitter）の開設

九州厚生局では、X（旧Twitter）の公式アカウントを開設し、SNSを活用した広報活動を実施しております。

セミナーの開催情報など皆様の今後の業務にお役立ていただけるような情報を随時投稿してまいりますので、お昼のランチタイムなどお時間がありますときにぜひお読みいただけますと幸いです！

皆様、ぜひフォローをよろしくお願いいたします！

アカウントURL：[https://x.com/MHLW\\_kyushu](https://x.com/MHLW_kyushu)